

哲 學 研 究

第 壹 卷 第 六 冊

第 六 號

大 正 五 年 九 月 一 日 發 行

フイヒテの宗教哲學の發展……………文學博士 朝永三十郎

カントの『判斷力批判』に就て……………文學博士 深田康算

メイス・ドゥ・ピラン……………文學士 錦田義富

集團心理現象の概念及び本質……………米田庄太郎

人格の權利に就て……………文學士 西 晋一郎

新著紹介……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 科 大 學 內

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士 西田幾多郎

文學博士 朝永三十郎

文學士 千葉胤成

文學博士 狩野直喜

米田庄太郎

文學博士 高瀬武次郎

文學士 中川得立

文學士 植田壽藏

文學博士 松本文三郎

文學士 深田武

文學博士 深田康算

文學博士 藤井健治郎

文學博士 小西重直

寶嚴方治

書記

章節の取り方も殆ど原著をその儘に、第一章序論——利己主義と他利主義、第二章道德上の根本動機と惡、第三章行爲と心情（幸福主義と功利主義）第四章服従と道德的自由（他律と自律）第五章道德的の心情（義務と傾向性）第六章一般的道德律と良心、第七章目的の體系、第八章社會的有機體（家族と國家）第九章意志の自由と責任、となつて居る。原著では第五章道德的正となつて居るが本書のは章の題名が變つたばかりで内容は原著の極めて大要を引き抜いたものであり、第九章に取り扱はれてゐる「意志の自由」と「責任」との二問題は原著では第九章第十章と別々にして論じられてゐるものを一章に取り纏めて略説したものである。

要するに原著に難解の點尠からず、明快なる言句又他國語に移すに容易ならず、本書の著者は思想上の影響を受くることの大なりし「師」リップスの學說を平易に紹介せんことを勉められたのであらう。（東京神田南神保町岩波書店發行、定價金壹圓二十錢、四六版三四五頁並索引）（尾生光三郎）

寄贈書籍雜誌

優婆尼沙土物語	木村龍寛著	新潮社
宗教哲學	文學士 石原謙著	岩波書店
倫理學の根本問題文學士	阿部次郎著	同
忠義の哲學	ロイス著 鈴木半三郎譯	洛陽堂
日蓮聖人の宗教	北尾日大編	編者

心理研究、丁酉倫理會講演集、六合雜誌、東亞之光、神學之研究、第三帝國、早稻田文學、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、小學研究、教育研究、教育學術界、東京教育、奈良縣教育、靜岡縣教育時報、越後教育雜誌、岐阜縣教育、三重教育、長崎縣教育雜誌、愛媛教育、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、宮城縣教育會雜誌、藝備教育、中等教育、陸鹽眼、

前 號 目 次

	メーヌ・ドゥ・ピランの出づる迄	文學士 錦田 義富
	集團心理現象の概念及び本質	米田 庄太郎
	經濟哲學の問題	法學博士 左右田喜一郎
	感情に關する新學說	文學士 千葉 胤成
	東方亞細亞の教育に關する一節	文學博士 小西 重直
	リッケルトの歴史學の觀念に就て	文學士 安部 晴之助
彙 報		
新著紹介		

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下
 度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ
 御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ
 凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
 文科大學内
京都哲學會
 振替口座大阪參〇六六參番

價 定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾錢	金	壹錢
六冊(前金)	冊	金	壹圓貳拾錢	不	申
十二冊(前金)	冊	金	貳圓四拾錢	不	申
受					

廣 告 料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶
 文館へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さ
 べく候
 ◎振替貯金にて御送金は東京二八〇番寶文館宛に願上候
 ◎前金切れの場合ハ帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに
 付直に御拂込下され度候
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下
 され度候

大正五年八月二十八日印刷納本
 大正五年九月一日發行
 第六號 第壹卷
 第六册

編輯者 京都帝國大學文科大學内
 右代表者 京都哲學會
 發行者 寶嚴方治
 印刷者 大葉久吉
 印刷所 青柳十一郎



發行所 東京日本橋區本石町三丁目
 (振替口座東京二八〇番) **寶文館**

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目
 大阪市東區淡路町四丁目 **寶文館**

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

大葉久吉
 東京市日本橋區本石町三丁目
 青柳十一郎
 東京市本區市谷加賀町一丁目十二番地
 秀英舍第一工場